

# 親子聖書日課

NO.1612 2019.8/18-24 名前

[日]ゼカルヤのように正しいことを言ったために、殺されたらどうでしょう。「主よ、責任を追求して下さい」と言いそうです。しかし、主は十字架の上で、「父よ、彼らをお赦し下さい」と祈られました。その執り成しの祈りで、人々は悔い改めたのです。

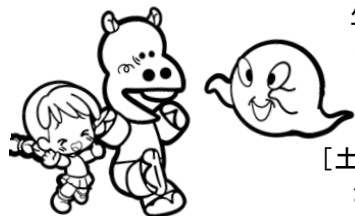
[月]人間は誇り高ぶると、神の言葉も人の忠告も聞けなくなります。自分だけでなく、周りにいる人まで滅ぼします。アマツヤがよい例です。自分が成功している時でも、神の言葉と人の忠告を聞きましよう。その為に、日々、静聴の時が必要です。

[火]神を一心に求めている時、ウジヤ王は栄えますが、自分の力で栄えたと思いがつたたん、墮落しました。神の助けを得て、祝福されたことを忘れてはいけません。逆境にも打ちひしがれず、大成功にもおごらず、謙遜な信仰を持ちましよう。

[水]人の成功だけではなく、失敗からも学べます。ヨタムも父ウジヤの失敗から、主の御前にへりくだることを学びました。「神の御前をたゆまず歩き続けた」時にこそ、信仰生活は祝福されます。時が良くても悪くても、御言葉に聴従しましよう。

[木]災難の時、神に立ち帰る人が多いの中で、アハズ王は益々主に背きました。自分よりも強そうだと思うと、敵の偶像まで拜むのです。そして主の神殿を閉じ、真の神を締め出します。こんなご都合主義の人は、神の国から締め出されます。

[金]「もう少し暇になってから、奉仕をします」という人はいませんか。私達の信仰は、「今、この時」の生き方が問われています。時間を作っても、奉仕しましよう。主に愛され、選ばれているという自覚があるなら、「今、この時、怠けて」はいられません。



[土]心を込めて悔い改め、主を賛美して喜び祝い、ひざまずいて礼拝し、感謝の献げ物をした時、主との交わりが回復します。「この事が速やかに行われる」ことが大切です。もう少し時間ができてからとためらってはだめです。速やかに行いましよう。

	聖書	問題	答え
日	歴代誌下 24:1-27	あなたたちが主を捨てたから、主もあなたたちをどうしますか。	
月	25:1-28	私の何を聞こうとしなかったのか、神は滅ぼそうと決めましたか。	
火	26:1-23	ウジヤは勢力を増すと共に思い上がってどうなりましたか。	
水	27:1-28:15	ヨタムは神の御前をどのように歩き続けたのか、勢力を増しましたか。	
木	28:16-27	アハズ王は災難のさ中でもなお主にどうしましたか。	
金	29:1-19	わが子よ、どんな時、怠けてはなりませんか。	
土	29:20-36	この事がどのように行われましたか。	
感想と祈りの課題			